

都 市 消 防 委 員 会

説 明 資 料

令和 2 年 3 月 12 日

住 宅 都 市 局

目 次

	頁
1 都心部の魅力ある都市空間形成検討調査について	1
(1) 国土交通省が進める「ウォークアブルなまちづくり」	1
(2) 調査の概要	1
2 名古屋駅周辺の地域資源を活かしたまちづくりの検討について	2
(1) 主な検討内容	2
(2) 検討箇所図	2
3 新たな路面公共交通システムの検討について	3
(1) 目的及び内容	3
(2) 車両走行による実験の目的及び内容	3
(3) 他都市におけるBRTの事例	4
4 松重閘門の再生に向けた検討について	5
(1) 概要	5
(2) 松重閘門の再生に係る主な課題	5
(3) 令和2年度における主な検討内容	5
(4) 位置図	5
5 中志段味特定土地地区画整理事業の再建計画策定支援について	6
(1) 概要	6
(2) 内訳	6
6 ささしまライブ24地区の整備について	7
(1) 内容	7
(2) 箇所図	7
7 ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等の推進について	8
(1) 内訳	8
(2) 地下公共空間の検討箇所図	8
8 名古屋駅ターミナル機能の強化について	9
(1) 内訳	9
(2) 位置図	9
(3) 駅前広場の再整備等について	10
ア 東側エリアの今後の進め方等	10
イ 西側エリアの今後の進め方等	11

9	都市高速道路建設費について	12
(1)	利用台数	12
(2)	位置図	12
10	市営住宅駐車場について	13
(1)	市営住宅駐車場の利用状況等	13
(2)	空き区画の活用に係る課題	13
(3)	社会実験の概要	13
11	高齢者共同居住事業の入居状況について	14
12	市営住宅における単身入居者死亡後の残置物保管状況について	15
(1)	残置物がある戸数	15
(2)	残置物の保管期間	15
(3)	残置物の保管期間が長期化している主な理由	15
13	民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネット機能の強化について	16
(1)	居住支援コーディネート事業の概要	16
(2)	イメージ図	16
(3)	名古屋市内で活動する住宅確保要配慮者居住支援法人	17

1 都心部の魅力ある都市空間形成検討調査について

(1) 国土交通省が進める「ウォーカブルなまちづくり」

基 本 的 な 考 え 方	・官民のパブリック空間をウォーカブルな人中心の空間へと転換し、民間投資と共鳴しながら「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成 ・様々な人々の出会い・交流を通じたイノベーションの創出や豊かな生活を実現し、まちの魅力や国際競争力を向上
支 援 策	・ウォーカブルな空間整備や滞在環境の向上等への財政支援 ・民地部分の広場化や建物低層部の開放等への税制支援 ・公共空間の利活用促進への金融支援
名 古 屋 市 に お け る 国 と の 連 携	・国土交通省が設置した「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」にオブザーバーとして参加 ・国が提唱する「ウォーカブル推進都市」に参画し、国からの各種施策の情報提供を受け、国内外の先進事例の情報を共有

(2) 調査の概要

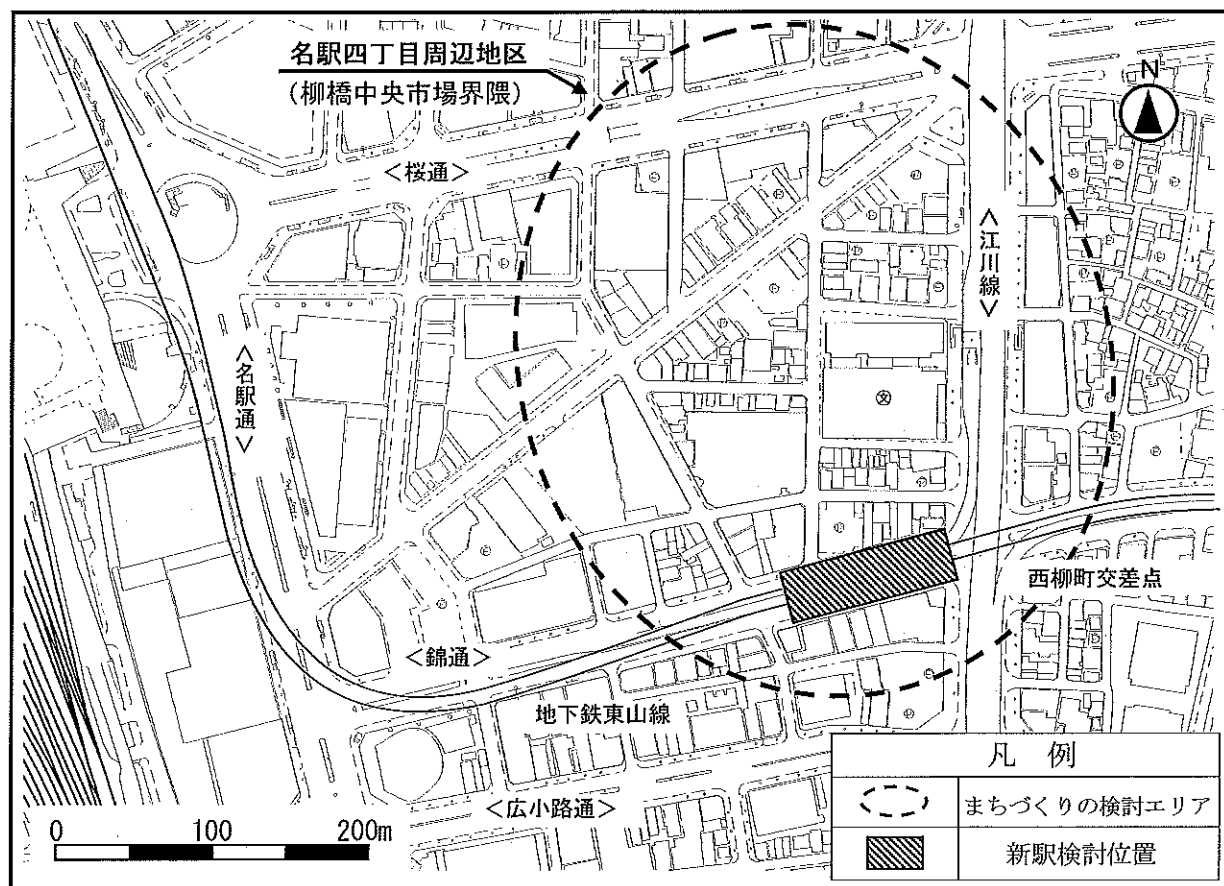
目 的	「都心部まちづくりビジョン」の推進や国土交通省が進める「ウォーカブルなまちづくり」の実現に向けた具体的な施策展開の検討
内 容	・様々な人材を惹きつける都市の多様性や快適性、象徴性を向上させるための都市空間形成に向けた誘導方策の検討 ・民間開発に合わせて地区の課題や特性に応じた魅力ある都市空間形成を積極的に誘導するための指針等の検討 ・地元まちづくり団体等による国の補助制度を活用した実験的な取組の支援策の検討

2 名古屋駅周辺の地域資源を活かしたまちづくりの検討について

(1) 主な検討内容

事 項	検 討 内 容	予 算 額
		千円
地域資源を活かした魅力向上の検討	1 名駅四丁目周辺地区の開発の方向性の検討 ・柳橋中央市場界隈のまちづくりの方向性や進め方の検討 ・界隈の魅力発信等によるまちづくりの機運醸成 2 地元関係者、民間事業者との意見交換	5,000
地下鉄新駅整備に係る検討	1 民間活力による整備の実現可能性の検討 ・事業性に関するサウンディング調査 ・事業の手法、成立要件の検討 2 交通事業者と連携した運営上の課題に関する検討	3,000

(2) 検討箇所図



3 新たな路面公共交通システムの検討について

(1) 目的及び内容

目 的	新たな路面公共交通システムの事業化に係る検討
内 容	・ 事業計画の策定に向けた検討 ・ 都心部における車両の走行実験の実施等

(2) 車両走行による実験の目的及び内容

目 的	連節車両の走行に伴う交通への影響等の検証及び体験乗車の実施による市民意見の聴取	
内 容	場 所	本市都心部
	期 間	1～2日間
	車 両	連節車両

(3) 他都市におけるBRTの事例

都 市 名	福 岡 市	東 京 都
開 始 時 期	平成28年8月	令和2年5月（予定）
運 行 区 間	天神～博多駅～ ウォーターフロント地区	虎ノ門ヒルズ～ 晴海BRTターミナル
運 行 車 両	連節車両	単車車両 連節車両
運行事業者	西日本鉄道株式会社	東京BRT株式会社
主 な 特 徴	・都心の拠点間における循環運行 ・運行規模を段階的に拡大 ・走行空間の明示化	・単車車両は燃料電池車両を採用 ・車両と段差のない停留施設の整備 ・車両や停留施設等へのトータルデザイン導入

4 松重閘門の再生に向けた検討について

(1) 概要

予 算 額	44,500千円
目 的	・松重閘門の再生に向け、閘門の機能を復活させた場合の技術的課題の対応策の検討を進め、閘門再生の方向性を見極めていくこと ・松重閘門周辺の魅力向上策の検討を進め、閘門周辺のにぎわい創出に向けた施策につなげていくこと

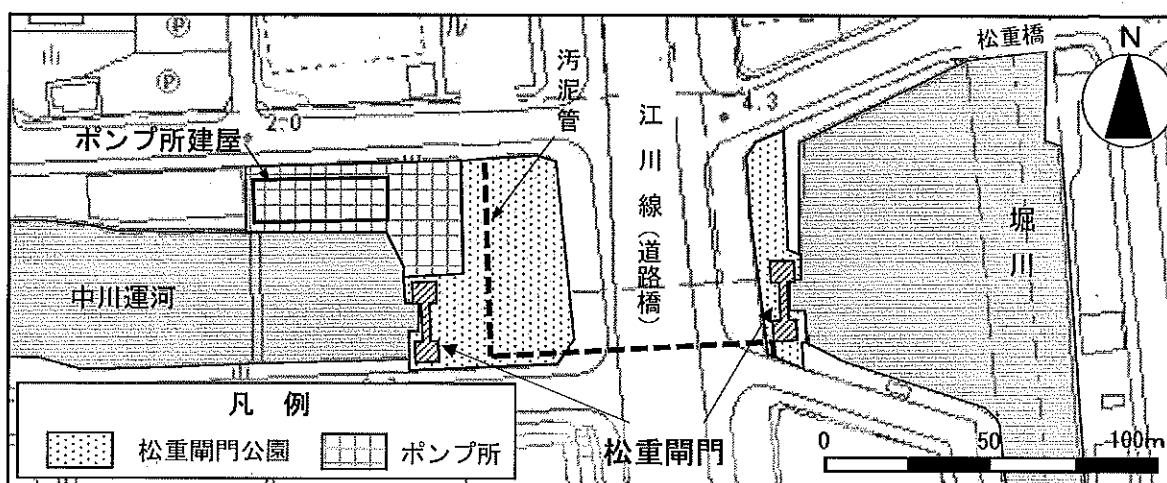
(2) 松重閘門の再生に係る主な課題

- ・ 既存の塔に対し、地震時に機能を保てるよう、技術的な照査及びその結果に基づく補強が必要となる。
- ・ 市指定有形文化財として、改修内容について市文化財調査委員会と十分な調整が必要となる。
- ・ 江川線（道路橋）の桁下を通航できる日時や船の高さに制約がある。
- ・ 水路を再生する部分に汚泥管が埋設されており、移設が必要となる。

(3) 令和2年度における主な検討内容

事 項	内 容
松重閘門の技術的課題の対応策の検討	松重閘門の塔の耐震性の照査に向けた地盤状況の調査や塔に対する荷重等を整理する。
松重閘門周辺の魅力向上策の検討	松重閘門の再生にあわせて、閘門周辺の魅力向上策としてポンプ所建屋の活用や公園の再整備等を検討する。

(4) 位置図



5 中志段味特定土地区画整理事業の再建計画策定支援について

(1) 概要

中志段味特定土地区画整理組合は、現行事業計画のままでは大幅な収支不足の発生が見込まれていることから、平成30年度に、事業費や事業期間を圧縮するため施行地区の見直しに取り組むことを柱とする「再建計画骨子」を策定し、組合としての取組の方向性を示した。また、令和元年度は、施行地区の縮小案や再減歩による組合員の追加負担を表明し、組合内部の合意形成に取り組んでいる。

本市としても、同組合に対して事業再建を支援するための助成金を交付するとともに、事業再建に関連して必要となる本市の対応の検討等を行うものである。

(2) 内訳

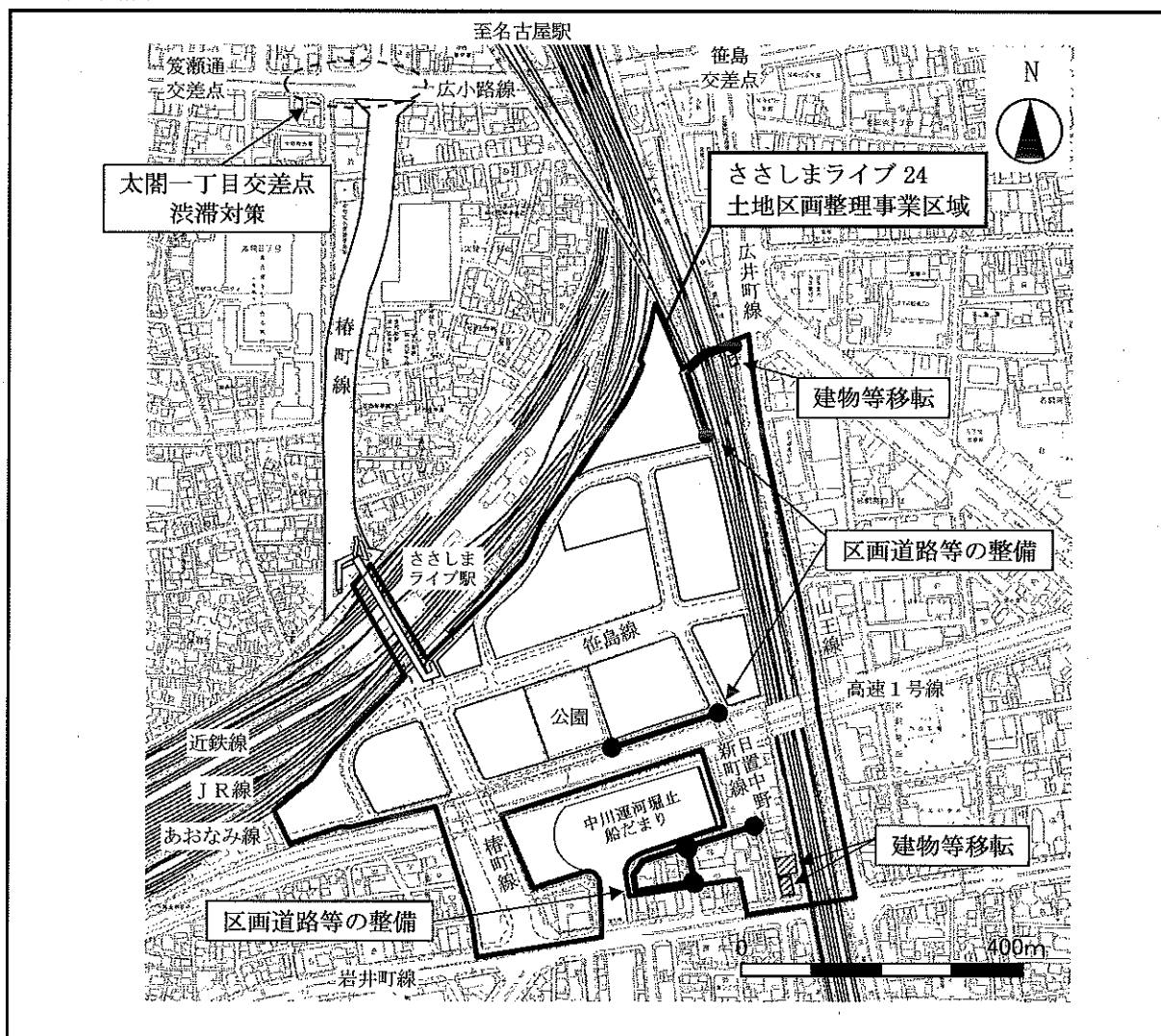
主 な 内 容	予 算 額
	千円
中志段味特定土地区画整理組合における施行地区の見直しに伴い必要となる調査設計費用に対する助成	365,000
施行地区の見直しにより、土地区画整理事業から外れる地区のまちづくりに関する対応の具体化に向けた検討	11,800
合 計	376,800

6 ささしまライブ24地区の整備について

(1) 内容

事 項	主 な 内 容
公共施設整備費	・ 区画道路等の整備 ・ 太閤一丁目交差点渋滞対策
建物等移転費	・ 建築物移転及び占有者補償 ・ 占用物件移設
調査設計費等	・ 環境影響評価事後調査 ・ 道路等修正設計 ・ 建物等調査 ・ 公園、広場、管理地及び管理施設等維持管理

(2) 箇所図

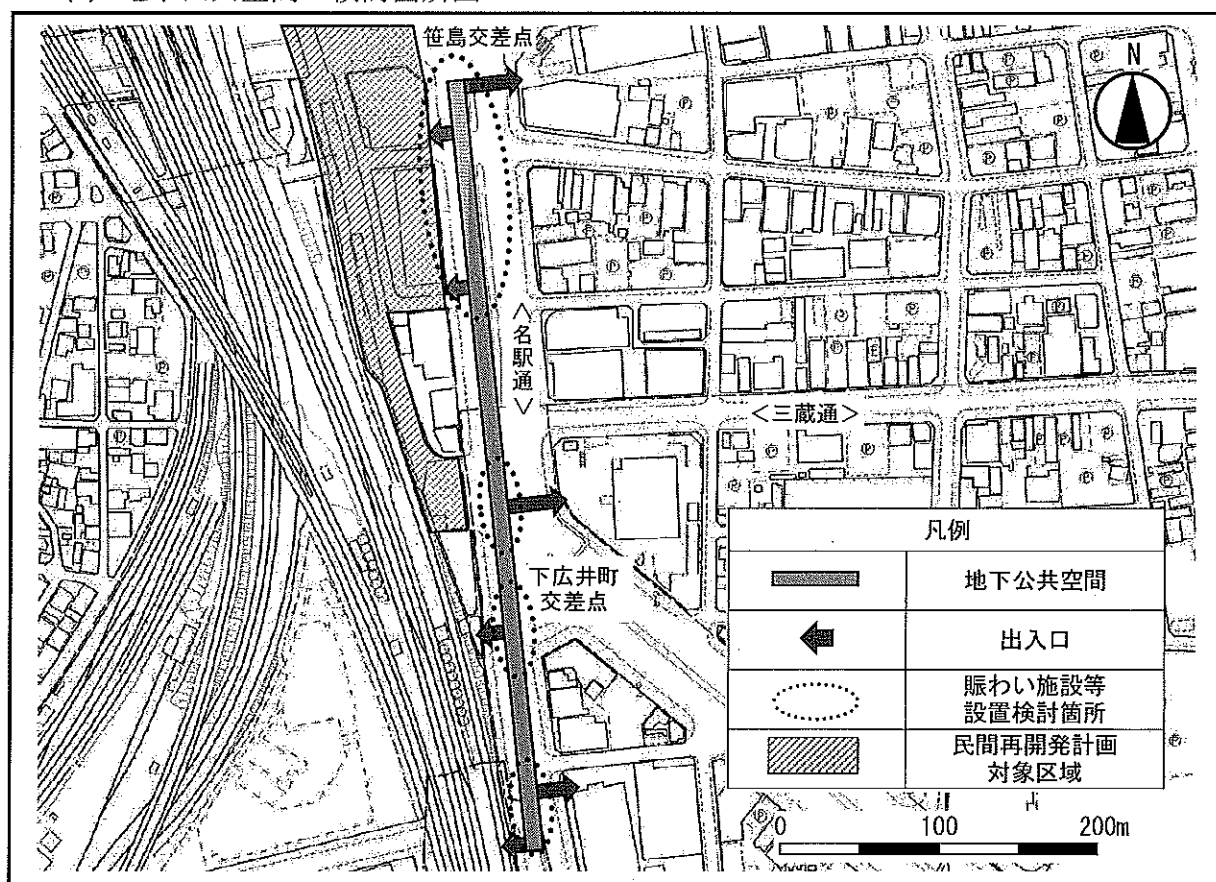


7 ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善等の推進について

(1) 内訳

事 項	内 容	予 算 額
		千円
公 共 施 設 整 備 費	・ 名駅通歩道拡幅工事	120,000
調 査 設 計 費 等	・ 地下公共空間の基本設計等 ・ 地下公共空間の延伸等検討 ・ 新駅設置可能性検討 ・ 名駅南地区等の賑わい創出検討	80,000
合 計		200,000

(2) 地下公共空間の検討箇所図

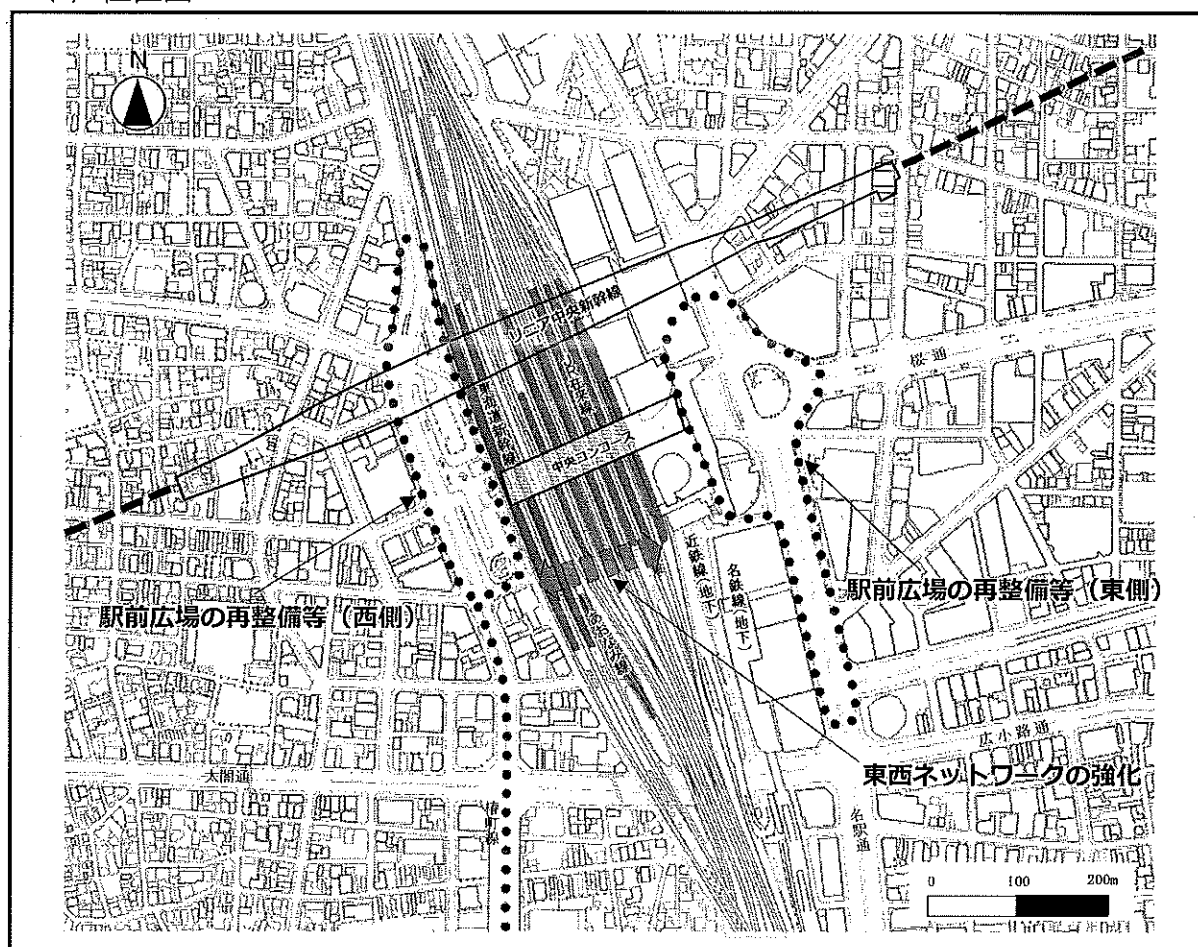


8 名古屋駅ターミナル機能の強化について

(1) 内訳

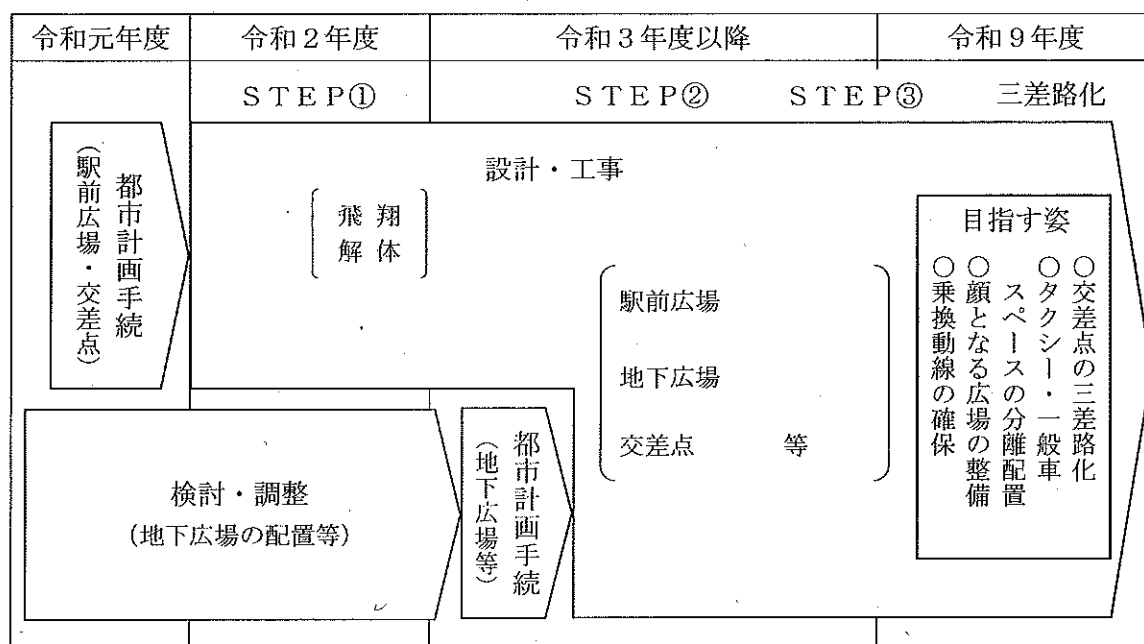
事 項			予 算 額
			千円
駅前広場の再整備等の検討・工事	東 側	検 討	229,000
		工 事	281,000
	西 側	検 討	70,000
東西ネットワークの強化の検討			80,000
合 計			660,000
財源内訳	国 庫 支 出 金		322,500
	県 支 出 金		26,666
	地 方 債		126,000
	一 般 財 源		184,834

(2) 位置図



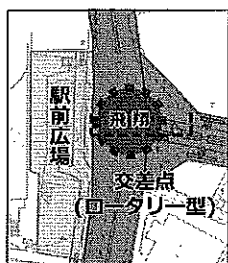
(3) 駅前広場の再整備等について
ア 東側エリアの今後の進め方等

(今後の進め方)



(施工手順のイメージ)

STEP① 飛翔の解体



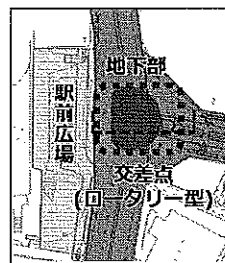
平面



断面

飛翔の解体

STEP② 地下部等



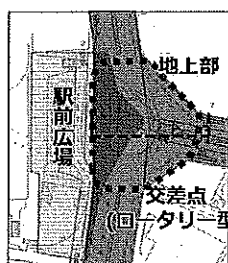
平面



断面

地下設備・地下広場等の工事

STEP③ 地上部等



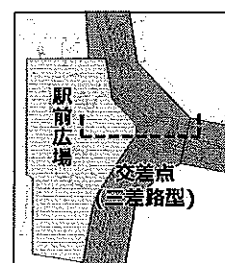
平面



断面

交差点・地下広場等の工事
(車両の通行を確保しながら順次工事)

交差点の三差路化



平面



断面

三差路交差点の供用開始

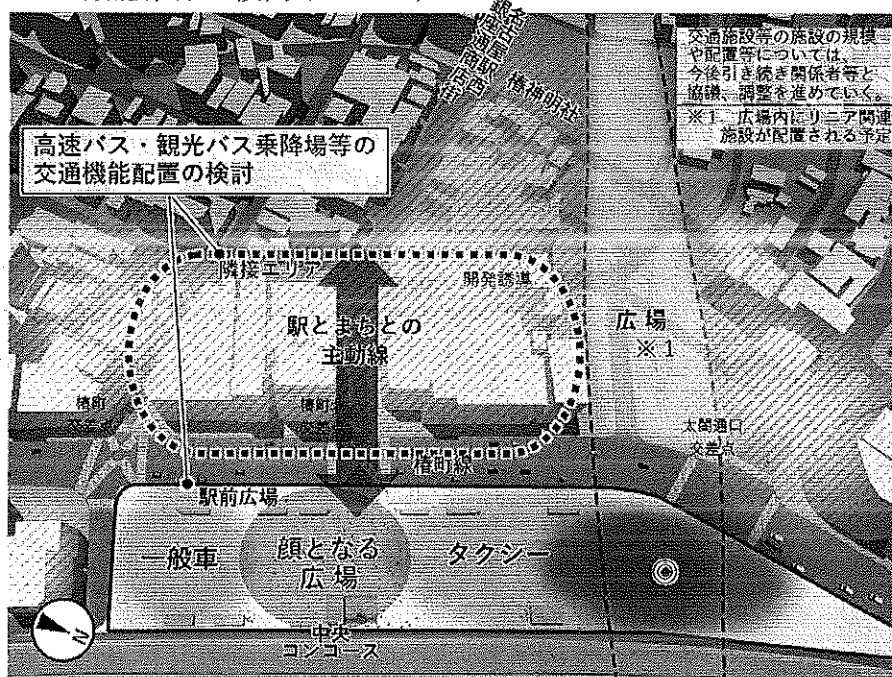
備考 駅前広場の施工手順の詳細については検討・調整中

イ 西側エリアの今後の進め方等

(今後の進め方)

	令和元年度	令和2年度以降	令和8・9年度	令和10年度～
平面レベル の機能確保	検討・調整	設計・工事	目指す姿 ○バス乗降場等の配置 ○タクシー・一般車スペースの分離配置 ○顔となる広場の整備	
重層的な 拠点の形成	検討・調整 民間事業者等と空間活用等について検討	関係者との基本的な合意形成 都市計画手続	設計・工事	

(平面レベルの機能確保の検討イメージ)



備考1 既存の地下街及び地下駐車場は、現状の利用を基本とする。

2 「新たな路面公共交通システム（SRT）」と整合を図る。

3 駅前広場内に、自転車駐車場等を配置することを検討する。

(注) リニア中央新幹線名古屋駅新設工事に伴う復旧工事等の状況により、リニア中央新幹線開業時には◎付近に駅前広場機能の確保が困難となることが想定される。

9 都市高速道路建設費について

(1) 利用台数

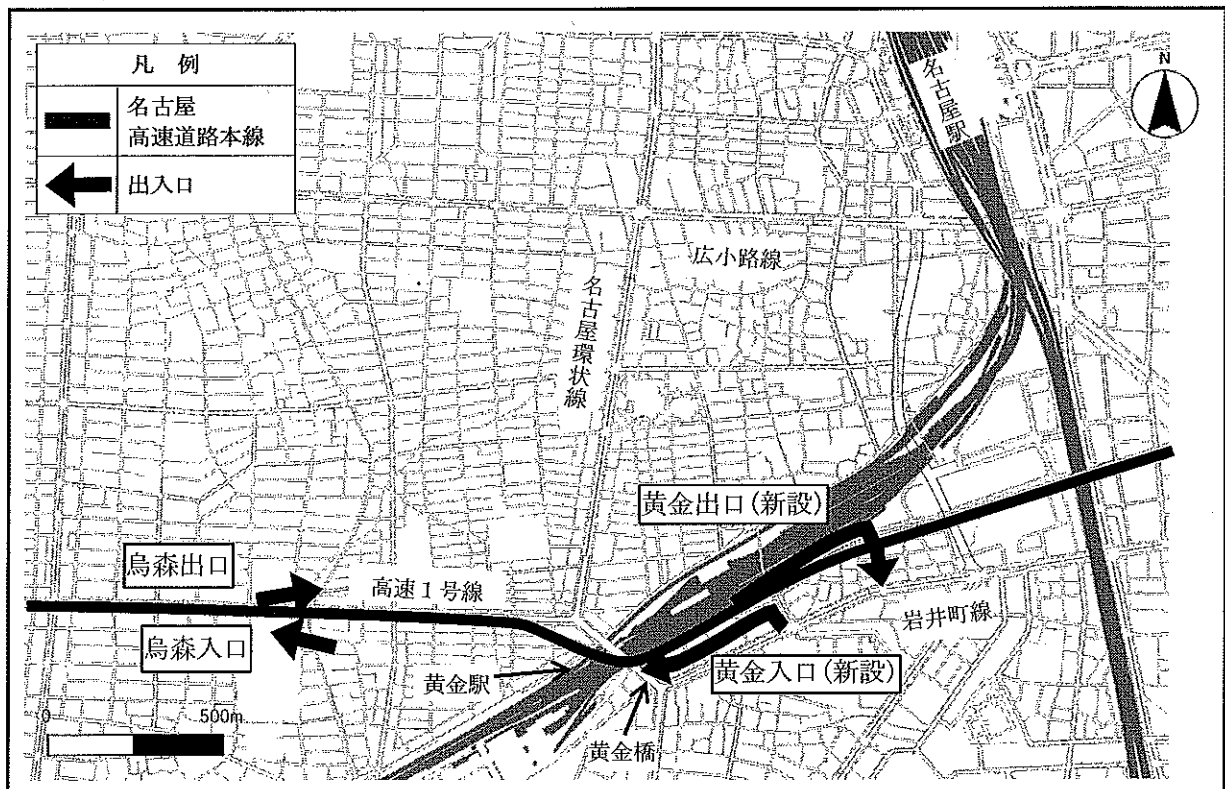
出入口		黄金出口 (新設)	黄金入口 (新設)	烏森出口	烏森入口
		台/日	台/日	台/日	台/日
現 況		—	—	2,600	2,500
将来推計	黄金出入口等 整 備 な し	—	—	3,100	3,100
	黄金出入口等 整 備 あ り	1,700	1,100	2,500	2,700

備考 利用台数は年間の日平均値（平日）

(注) 1 現況は平成30年度における利用台数

2 将来推計は第5回中京都市圏パーソントリップ調査（平成23年）を基に令和9年度の利用台数を本市において推計したもの

(2) 位置図



10 市営住宅駐車場について

(1) 市営住宅駐車場の利用状況等

管 理 台 数		34,654	台
契 約 台 数		27,089	
うち活用台数	コインパーキング等	318	
	自治会貸し	183	
空 き 台 数		7,565	

備考 令和2年1月31日現在

(注) 1 コインパーキング等は、コインパーキング、カーシェアリング、月極駐車場として事業者に貸し付けている台数

2 自治会貸しは、入居者の介護用として自治会に無償で貸し出している台数

(2) 空き区画の活用に係る課題

- ・ コインパーキングについては、道路などからの視認性がよく、まとまった空き区画がある駐車場でなければ導入ができない。
- ・ まとまった空き区画を作るためには、入居者が区画の変更をしなければならない場合が多く、契約変更の同意が得られない場合も多い。
- ・ 自治会貸しについては、管理に負担がかかることから、希望する自治会が一部にとどまる。

(3) 社会実験の概要

- ・ 空き区画を活用し、駐車場シェアリングを実施
- ・ 駐車場シェアリングを実施する団地の一部で、併せてコインパーキングや事業者提案による新たな活用を実施

11 高齢者共同居住事業の入居状況について

管 理 戸 数	12	戸
入 居 戸 数	3	

備考 令和2年2月29日現在

12 市営住宅における単身入居者死亡後の残置物保管状況について

(1) 残置物がある戸数

平成30年度	令和元年度
76戸	97戸

- (注) 1 平成30年度は平成31年3月31日時点
2 令和元年度は令和2年1月31日現在

(2) 残置物の保管期間

最 長	5年11か月
平 均	2年 7か月

備考 令和2年1月31日現在

(注) 1月に満たない期間は切り捨て

(3) 残置物の保管期間が長期化している主な理由

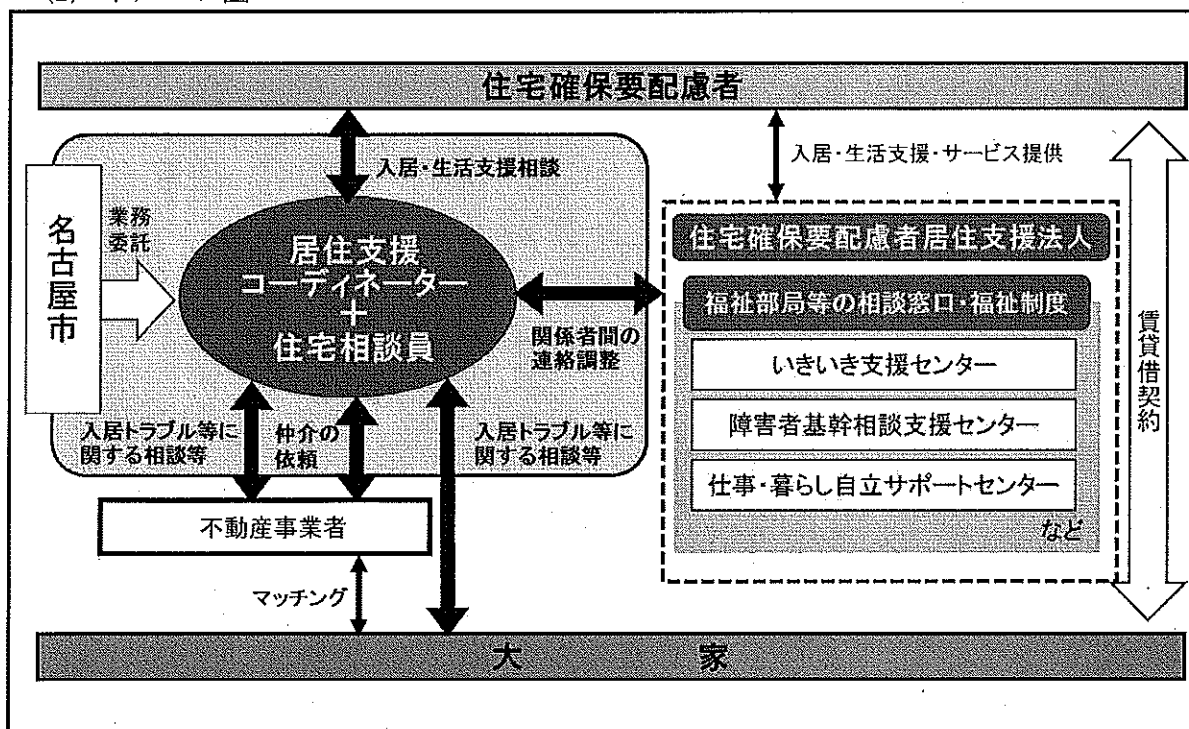
- ・ 相続人と連絡が取れない。
- ・ 相続人に引き取りを拒否される。

13 民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネット機能の強化について

(1) 居住支援コーディネーター事業の概要

趣 旨	居住支援コーディネーターを試行的に設置し、居住支援法人等による居住支援活動のネットワークづくりを進める。	
実 施 体 制	居 住 支 援 コーディネーター	1名以上（常勤専従）
	住 宅 相 談 員	1名以上（兼務・非常勤可）
居住支援コーディネーターの主な役割	入 居 支 援	・民間賃貸住宅入居相談（月3回） ・居住支援法人や福祉関係者間の連絡調整
	大家等への支援	・入居トラブル等に関する相談等 ・登録住宅の申請支援

(2) イメージ図



(3) 名古屋市内で活動する住宅確保要配慮者居住支援法人

法 人 名	指 定 年 月 日	主 な 実 施 事 業
特定非営利活動法人 たすけあい名古屋	平成30年 1月12日	・福祉サービス関連
公益社団法人 愛知共同住宅協会	平成30年 2月28日	・住宅・不動産関連
ホームネット株式会社	平成30年 2月28日	・緊急通報サービス
特定非営利活動法人 あたたかい心	平成30年 5月25日	・福祉サービス関連 ・就労支援
特定非営利活動法人 介護サービスさくら	平成30年 5月25日	・福祉サービス関連
特定非営利活動法人 ノッポの会	平成30年 6月13日	・福祉サービス関連
社会福祉法人会 共生福祉会	平成30年 6月20日	・福祉サービス関連 ・就労支援
一般社団法人 家財整理相談窓口	平成31年 1月18日	・家財・遺品整理
株式会社エベレスト コンサルティング	平成31年 1月23日	・就労支援 ・起業支援
株式会社リンクリンク	令和元年 5月31日	・就労支援 ・住宅・不動産関連
株式会社くらしケア	令和元年 8月 6日	・福祉サービス関連 ・住宅・不動産関連
社会福祉法人名古屋市 社会福祉協議会	令和元年12月13日	・福祉サービス関連
特定非営利活動法人 くらし応援ネットワーク	令和元年12月16日	・福祉サービス関連

備考1 愛知県の指定する住宅確保要配慮者居住支援法人のうち、名古屋市内を支援業務区域とするもの

2 令和2年1月31日現在

(注) 指定年月日は、愛知県が住宅確保要配慮者居住支援法人として指定した日